

# 「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 28 年 4 月 26 日

仕事の内容	第26回多摩湖駅伝大会			
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習	係 課長名 村上敏彰

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 スポーツ・レクリエーションの推進

(総合計画書 43 ページ)

予算名	款 10	教育費	項 5	保健体育費	目 1	保健体育総務費	事業 3	スポーツ振興事業費	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)			
	多摩湖駅伝大会参加チーム					→ 参加チーム数			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)			
	現状のチーム数を維持する。(コースの設定上、参加チームが大幅に増加すると運営に支障が出るため)					→ 参加チーム数			
1 この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会による大会ホームページの作成</li> <li>・都内各区市町村のスポーツ振興課へ広報を行った。</li> <li>・西武鉄道や多摩都市モノレールの協力を得て各駅にポスターを掲示した。</li> <li>・日本各地から応募を受け付けられるようインターネットによる申込を行った。</li> <li>・前回参加者及び都内高校陸上部に大会要項を送付した。</li> </ul>					→ インターネットの申込については二ヶ月間行った。			

2 指標の推移		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度目標	平成29年度目標	
	対象指標	①の数値	チーム	448	430	447		
	成果指標	②の数値	チーム	450	450	450		
	目 標	②の目標値				450	450	450
		目標値設定の考え方	現状の参加チーム数を維持する。					
活動指標	③の数値	か月	2	2	2			

3 経費	事業費		円	1,473,890	1,337,963	1,838,360	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,233,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成26年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	1,473,890	1,337,963	1,838,360	
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0	
		所要人数(再任用)	人				
		職員人件費(再任用以外)	円	8,298,000	8,298,000	8,233,000	
職員人件費(再任用)	円						
事業費+人件費		円	9,771,890	9,635,963	10,071,360		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
	スポーツ振興を目的に平成2年から開始されている。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	
当初と比べコース等の変更はある。また、昨今の健康増進意識向上に伴うマラソンブームにより需要は拡大していると考えられる。		

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	距離の短い公園周回コースの参加者が増加しており、短い距離で気軽に参加したいというニーズが拡大していることが伺える。	

仕 事 の 内 容	第26回多摩湖駅伝大会			
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習	係 課長名 村上敏彰

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)		
	取り組んだ	取組手法 ②実行委員会、③事業協力 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )	
(2)平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。 実行委員が会議以外で活動に関われる機会を増やす必要がある。			
7 課 題	この仕事を振り返り、課題を記入してください。		
	多摩湖上堰堤の堤体補強工事の影響により、平成29年度から現行の多摩湖周回コースで実施できなくなる。		
8 今 後 の 方 向 性	(1) 仕事の方向性(「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など)		
	多摩湖周回道路を使用して、多摩湖上堰堤を通らない代替のコースを設定、実施する。		
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。 駅伝に伴う道路使用について、警察等関係各所と調整を行う。		
(3) 改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成 果	成果を向上させる。	経 費	仕事の経費を増加させる。